

令和4年 お茶づくり技術情報 (No.5)

2022年5月12日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 一番茶作況

1) 生育状況 (茶業試験場内作況調査ほ場)

表1 一番茶萌芽期

本 年	前 年	前4か年平均
3月30日	3月28日	3月29日

注) 品種: やぶきた 樹齢: 21年生

表2 作況調査園の芽長と開葉数

調査日	4月5日	4月10日	4月15日	4月20日	4月25日	4月30日	
芽長 (cm)	本 年	0.7 ± 0.2	1.5 ± 0.5	3.3 ± 0.9	5.3 ± 1.3	8.5 ± 1.5	12.4 ± 1.8
	前 年	2.8 ± 0.6	4.5 ± 0.9	7.0 ± 1.1	9.3 ± 1.2	13.2 ± 1.5	
	前4か年 平 均	1.9 ± 0.5	3.4 ± 0.7	5.6 ± 1.0	8.2 ± 1.2	11.2 ± 1.5	10.7 ± 1.3
葉数 (枚)	本 年	0.1 ± 0.3	0.9 ± 0.6	2.0 ± 0.6	2.8 ± 0.5	3.6 ± 0.5	4.5 ± 0.5
	前 年	1.0 ± 0.3	2.1 ± 0.4	2.8 ± 0.4	3.5 ± 0.4	4.5 ± 0.4	
	前4か年 平 均	0.7 ± 0.3	1.5 ± 0.4	2.3 ± 0.4	3.2 ± 0.4	4.1 ± 0.4	4.2 ± 0.3

注) 4月30日の前4か年平均値は2020年度データ

- (1) 茶業試験場内の作況調査園 (定点調査園、品種: やぶきた) において、2020年3月30日に一番茶の萌芽を確認した。本年の萌芽期は、前年 (3月28日) より2日遅く、前4か年平均 (3月29日) より1日遅い (表1)。
- (2) 一番茶萌芽後の新芽は、初期生育期間に気温が低く推移したことから生育が遅れた。同一調査日における芽長は前年および前4か年平均より短く、開葉数は前年および前4か年平均より少なく推移した (表2)。
- (3) 一番茶の萌芽から摘採までの所要日数は32日間で、前3か年平均の29日間より3日間長かった。

2) 一番茶収量 (茶業試験場内作況調査ほ場)

表3 一番茶摘採日

本 年	前 年	前4か年平均
5月1日	4月25日	4月27日

- (1) 本年の一番茶摘採日は5月1日で、前年より6日、前4か年平均より4日遅かった (表3)。

表4 一番茶収量と収量構成要素

■一番茶収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前 4 か年平均	
収 量	指 数	収 量	指 数	収 量	指 数
580.9 ± 108.0	105 (112)	518.9 ± 30.4	93	555.1 ± 37.0	100

注) 指数は、前4か年平均を100とした値であり、下段括弧内の値は前年比を示す(以下同様)

■百芽重 (g)

本 年		前 年		前 4 か年平均	
重 量	指 数	重 量	指 数	重 量	指 数
68.0 ± 12.4	92 (96)	71.2 ± 3.3	96	74.3 ± 5.5	100

■新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前 4 か年平均	
芽 数	指 数	芽 数	指 数	芽 数	指 数
1119 ± 308	91 (102)	1100 ± 35	89	1234 ± 113	100

■出開度 (%)

本 年	前 年	前 4 か年平均
28.0 ± 16.9	25.7 ± 8.2	29.2 ± 5.8

- (2) 一番茶収量は581kg/10aで、前年より12%多く、前4か年平均より5%多かった。出開度は前年より2.3%高く、前4か年平均より1.2%低かった。
- (3) 百芽重は、前年より4%少なく、前4か年平均より8%少なかった。新芽数は、前年より2%多く、前4か年平均より9%少なかった。
- (4) 本年は、4月上旬の霜害によって生育にばらつきが生じた。

2) これまでの気象 (一番茶萌芽後)

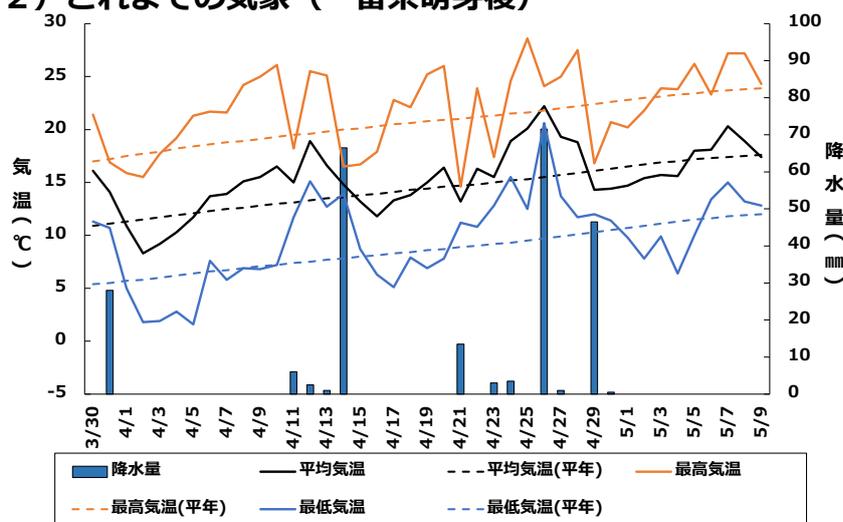
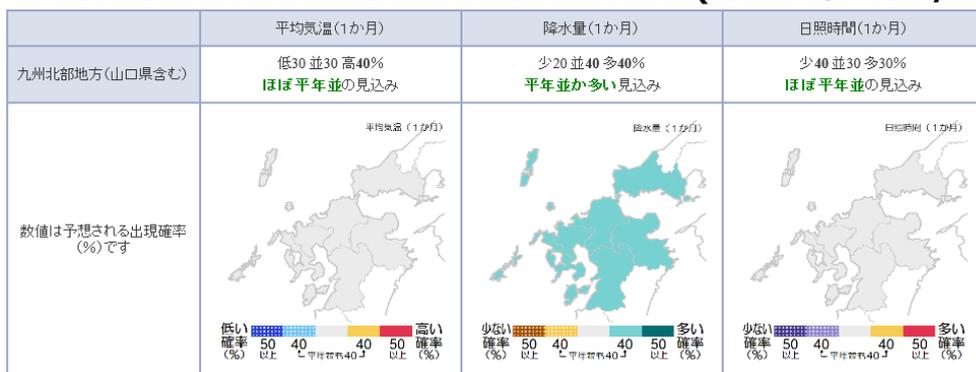


図1 一番茶萌芽後の気象状況 (3月30日～)

- (1) 平均気温は、4月1日から4月5日までは平年より低く、4月6日から平年より高く推移したが、4月14日および4月29日の降雨後は平年より低く推移した。
- (2) 降水量は、4月中・下旬は平年より多かった。

3) 今後の気象の見通し

■ 1か月予報（気象庁、令和4年5月5日発表）（九州北部地方 5/7～6/6）



- (1) 向こう1か月の平均気温と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。
- (2) 向こう1か月の降水量は、前線や低気圧の影響を受ける時期であるため、平年並みの見込み。

2. 今後の管理

1) 刈りならし作業

(1) 刈りならしの時期

- ①一番茶摘採から10～14日後を基本とする。
- ②一番茶の芽揃いが悪かった園（晩霜害を受けた茶園等）や早摘みした茶園では、遅れ芽の発生が著しいので、刈りならし時期をやや遅らせる（14～20日後）。
- ③2回刈りならしをする場合、2回目が遅すぎると二番茶芽を剪除し、生育のばらつきや減収の原因となるため、作業の遅れに注意する。

(2) 刈りならしの位置

- ①刈りならしの位置は、基本的に一番茶摘採後に立ち上がった葉や遅れ芽を除く程度で、一番茶を摘採した位置で刈りならすようにする。二番茶芽にはハサミをかけないように十分に注意する。

2) 中切り更新

- (1) 秋までの再生芽の生育期間を十分に確保するため、平坦部では8月5日、山間部では7月20日までに再整枝できるように一番茶摘採後から計画しておく（中切りから再整枝までの期間は70～75日が目安）。
- (2) 近年、夏季の高温・干ばつが頻発しているが、今後の気象予報を参考にしながら深さを決定する。また、処理直後に樹上散水（0.5～2t/10a）を行うことで、新芽の再生が促進される。

3) 土壌・肥料

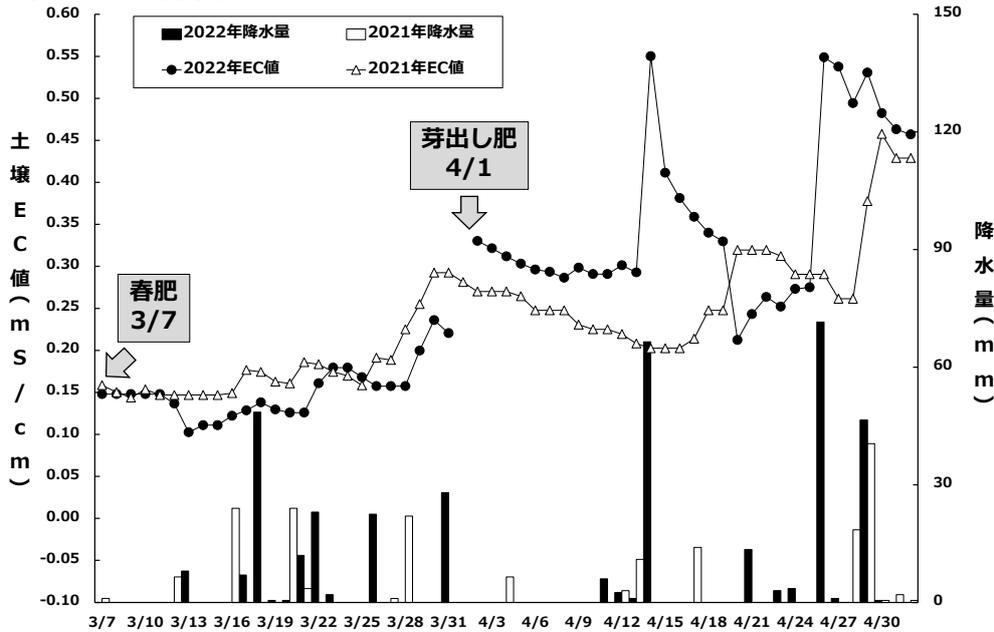


図2 茶試作況調査園における土壌 EC 値の推移

注1) 本年の土壌 EC 値は、雨落ち部の深さ 25cm 部分に埋設した土壌センサーにて測定し、実測値に基づき推定した値を示す。

注2) 4/1 に土壌センサーを Decagon 社 CDC-5TE から METER 社(旧 Decagon 社)TEROS-12 に取り替えた。

- (1) 土壌 EC は、3 月は前年より低く推移した。4 月は、4 月 14 日の降雨で上昇したが、その後減少し、4 月下旬のまとまった降雨により再び上昇した。
- (2) 二番茶芽出し肥（夏肥 1）は、一番茶摘採 2 週間後を目安に施用し、施用後は土壌とよく混和する。

4) 病害虫

病害虫防除の詳細については、「令和 4 年度佐賀県施肥・病害虫防除・雑草防除のてびき」を参照してください。

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321964/index.html>

